



おめでとうございます ～2022年度永年功労表彰～

＜10年表彰者＞ 200名(記念品として10年表彰トスコインを送付しました)

＜20年表彰者＞ 上山 洋一氏、野川 亮之氏

＜30年表彰者＞ 伊藤 知之氏、高萩 守氏

20年、30年表彰者の方々には5月14日(土)の審判委員会全体会議(Zoom会議)の前段で、リモートで表彰式を行い、コメントを頂きました。

【30年表彰者】(敬称略)

● 伊藤 知之(いとう ともゆき)

1991年11月に4級審判員資格を取得しました。ちょうどその時Jリーグが設立されて、これから日本のサッカーが大きく変わっていく、ちょうどそういう時でした。私もワクワクしていたのを覚えています。その時から30年、これまで続けられるとは思っていませんでした。これには習志野市サッカー協会審判委員会では山下さん、大日向さんはじめ、諸先輩や仲間に支えられ30年活動することが出来ました。また、元フットサル国際審判として活動されていた五十川さんに第一カッターフィールドで市民リーグの審判で一緒させていただいたのが良い思い出となっています。そして、昨年も市民リーグの時にレフェリーニュースでインタビューしていただき、仲間と一緒に載せていただいた事も良い思い出です。



これからも身体に気をつけて審判活動を続けていきたいと思っています。最後になりますが、まだコロナ禍で大変な環境ではありますが、これからも千葉県サッカー協会審判委員会、習志野市サッカー協会審判委員会の益々のご発展と活躍を祈念申し上げて、御礼の言葉とさせていただきます。本日はありがとうございました。



審判委員会トップページへはこちらから →



目次			
永年表彰	1～3	決勝審判表彰	8～11
昇級・新規取得者	3～6	更新・昇級試験等	11～13
地域で頑張っています	6～8	JFAコラムご紹介	14

● 高萩 守(たかはぎ まもる)

本日は、このような場を設けて頂きありがとうございます。仕事の為、出席できなくて申し訳ありません。この表彰は私にとって身に余る栄誉であるだけでなく、この30年を振り返る機会となりました。

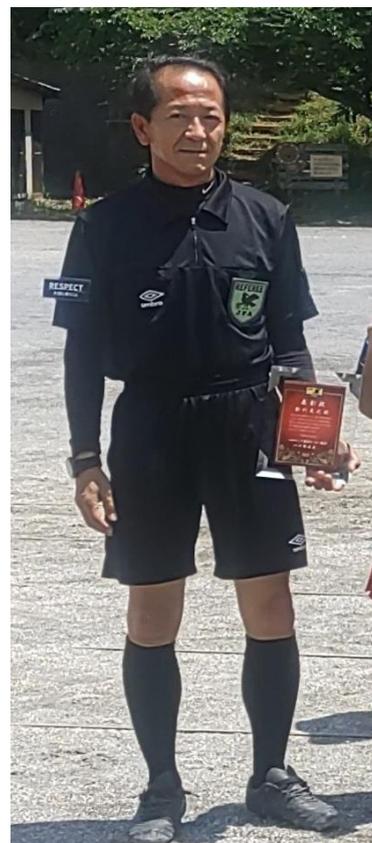
4級取得以来、割り当て場所や研修会場などで多くの人に出会いました。取得した当時の亡くなられた東元委員長をはじめ、歴代の委員長、委員会の皆様、審判員の皆様、チーム関係者など、たくさんの方々から多くの事を教わり30年の審判活動を続けることが出来ました。今の自分が活動を続けられるのも、その方々のおかげだと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。本日はありがとうございました。



【20年表彰者】(敬称略)

● 野川 亮之(のがわり ようし)

柏市サッカー協会で主に4種で活動しています。このような機会を設けていただきありがとうございます。20年間小学生の試合を中心に活動を続けてまいりましたが、この3年間はコロナ禍で思うような活動が出来なかった事もあり、振り返ってみました。その中でも20年間色々な事がありました。今後30年の表彰をいただけるよう勉強して頑張りたいと思います。私はサッカーに長く関わっているのですが、実は一度審判の資格更新を切らしてしまったという苦い経験を持っています。このレフェリーニュースを見ている方も資格を切らしてしまった方が何人もいると思いますが、是非、めげずに20年~30年続けてもらえるの良いと思います。これからも日々勉強だと思っています。その中でもレフェリーニュースを見て皆さまの活躍を楽しみにしていますし、私も少しでも子供たちの活動に関わり、サッカー協会の発展に協力できればと思っています。これからも頑張っていきます。今日はありがとうございました。



● 上山 洋一(かみやま よういち)

ちょうど20年前、子供の地元のサッカーチームのコーチが転勤になっていなくなって、私はサッカーの未経験者ですが、土日に練習に顔をだしていた時に、「コーチが足りないから入って欲しい」と言われ、「スポーツは色々やっていましたが、サッカーはやっていないですよ!」と言ったのですが、「それでも何とか入って欲しい」と言われ入ったのですが、一緒に審判資格も取って欲しいという事で資格を取ったのがちょうど20年前でした。まさか、こんなに長く審判をするとは思っていませんでしたが、お蔭さまでつつがなく20年務めさせていただきました。活動するうちに人生の幅が広がったなあと考えていますし、選手や関係者のお蔭で楽しい時間を過ごさせていただきました。明日も割り当てを頂戴しておりますので(笑)、大過なく無事に家に帰ってきたいな!と思っています。本当にこのような場を設けていただけて嬉しく思います。これからもよろしくお願ひします。



● 堀川委員長よりコメント

本日は、先輩方20年、30年という長きにわたり審判活動また当協会のご協力いただきまして、本当に心から感謝申し上げます。本来であれば、委員会のメンバーを囲んでおめでたい席なので色々お話をしながらお祝いをしたところではあるのですが、この状況という事でお許しいただければと思っています。伊藤様の方からもありましたが、「良い思い出」という事で、まだまだ皆さまお若く、お元気で私よりは遥かに動けそうなので、20年30年と言わずこれからも出来る時に出来る形で結構ですので、審判活動にご協力いただきたいと思います。今後ともお力添えいただければと思います。本日はおめでとうございました。

おめでとうございます その2

～サッカー・フットサル・インストラクター昇級者のご紹介～

サッカー3級昇級者(順不同、敬称略)

・池田 良平 ・斎藤 健一 ・杉浦 賢治 ・鈴木 崇史 ・弦巻 千年
・樋口 雅彦 ・松井 誉啓 ・水戸部 学 ・渡邊 敬男

フットサル3級昇級者(順不同、敬称略)

・清藤 耕生 ・武田 真弥

インストラクター3級認定者(順不同、敬称略)

・鹿野 千秋 ・山田 純也 ・大勝 雅禎 ・佐々木 英夫
・朝倉 崇光 ・柘植 政宏 ・高橋 弘樹 ・渡辺 優
・淵上 祥太 ・上田 千尋 ・中島 智広 ・村上 均

昇級者・新規取得者から喜びのひとつ

サッカー3級

●○渡邊 敬男○●

皆様こんにちは。渡邊です。

この度、3級昇格審査に合格することができました。ご指導・ご支援頂きました流山4種審判委員会及び関係者の皆様へ感謝申し上げます。

私の審判活動ですが、当時、息子が所属していたチームのためになりたいと4級を取得したことがきっかけで始めました。帯同審判として経験を積んできましたが、昨年からは流山市の審判委員会で活動する機会を頂き、上級審判の方々と接したことが刺激となって、昇格審査にチャレンジしました。

選手が気持ちよくプレーできるようなレフェリングを心掛け、日々精進してスキルアップに取り組みたいと思います。

今後とも宜しくお願いします。



●○斎藤 健一○●

富里市にあります七栄FCという少年団で活動しています、斎藤健一です。

息子が七栄FCにお世話になってから、何かお役に立てればと、お父さんコーチ、お父さん審判員として、サッカーに関わり、子供達との時間を楽しんできました。

当初は失敗も多く、楽しむ余裕なんてなかったのですが、息子が6年生の時に七栄FCが、第44回全日本U-12サッカー選手権大会千葉県大会で快進撃。私も自ずと笛を吹く機会が増えたのをきっかけに、一生懸命頑張る選手達を間近で見られる喜びと、無事に試合を終えることができた時の達成感に、審判員としてサッカーに携われる幸せを感じるようになりました。

3級審判員昇格審査の合格後にインストラクターの方がお話ししてくれたように、「レフェリーとしての試合経験を重ねてこそ3級レフェリー」だと私も思いますので、今後も審判員としての経験を重ねて、七栄FCや富里市、千葉県のサッカーに貢献できるように努力していきたいと思えます。

レフェリーも大切なサッカーファミリー。プレーヤーズファーストで頑張りますが、レフェリーへのリスペクトも忘れずにお願ひ致します。



フットサル3級

●○清藤 耕生○●

この度、フットサル3級審判員に昇級しました清藤耕生(せいとうこうぎ)と申します。

初めに、このコロナ禍の中、昇格審査を開催して頂きました千葉県サッカー協会の皆様へ感謝申し上げます。

私はサッカー・フットサルが大好きで、審判としてゲームに携わることが好きという気持ちを強く持っておりましたが、仕事や家庭の関係もあり中々サッカーの審判活動ができておりませんでした。そのような中、幸運にもフットサル関係者との個人的な繋がりから高いレベルの練習試合を依頼されることもあり、フットサルについてもまずは3級を目指す気持ちになりました。

私は、フットサルについては長年観る専門であり、競技経験はありませんので、もっともフットサルを勉強していかなければならないと感じています。そして今後の目標として2級を目指してサッカーもフットサルも頑張っていきたいと考えています。

そのために、まずはしっかりとトレーニングを積み、競技規則の理解を深め、フェアでエキサイティングなゲームを作り上げられるように努力していきたいと思えます。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



サッカーインストラクター3級

●○村上 均●○

今春、サッカー3級インストラクターになりたての村上でございます。約10年、4種を中心にサッカー審判活動を行ってまいりました。

最近、新規審判資格取得者(所謂お父さん審判員)の指導等もさせていただく場面も増えて来たこともあり、インストラクターの勉強をしっかりと行う必要も感じ3級インストラクターの資格取得にチャレンジ致しました。習志野市サッカー協会審判員会での学びもあり、お陰様で無事に資格取得しスタートラインに立つことができました。

インストラクター部の研修会にて、審判員の方が自ら気付き意識することの重要性を学び、寄り添うインストラクターを目指していきたいと思っております。とても難しいことで、今まで以上に自身のスキルアップも必要であると感じております。今後も各地の会場でお世話になるかと思います。引き続き宜しくお願い申し上げます。



●○高橋 弘樹●○

船橋市の高橋弘樹と申します。

私がインストラクター資格を受験しようとしたきっかけは、自身のレベルアップはもちろんのこと、生意気ながら審判員の皆様に審判を楽しんで頂く機会を提供したいと思ったためです。私は、初めて参加した更新実技講習会のインストラクターの方から、改善ポイントに加え、良かった点を褒めて頂きました。その結果、「自分でもやれるんだ」「もっとチャレンジしてみたい」という思いが芽生え、3級への昇級・3級インストラクター資格の取得をしました。

サッカー環境は日々進化をし、選手の姿勢・技術は年々上がっていると感じます。一方で、審判に目を向けてみますと、学びやレベルアップの機会は選手と比較すると限定的なのではないかと個人的に感じています。しかしながら、審判員に求められるレベルは年々高くなってきているのも事実かと思えます。そのため、審判員の方々が「楽しい」「チャレンジしてみよう」と思い、活動できるお手伝いができたらと思っています。これからもよろしくお願ひ致します。



●○山田 純也●○

この度3級インストラクターになりました、船橋市の山田純也です。県インストラクター一部の皆様には審査までの指導や試験日を変更していただいたりと大変お世話になりました。これからもご指導よろしくお願ひ致します。

私が資格を取ろうと思ったのは、昨年より船橋市の審判委員長になりまして今までは2級審判員としての経験だけで市内で指導してきましたが、これからはちゃんとした指導方法を学んで船橋市に貢献出来たらと思ったからです。

この場をお借りして、船橋市審判委員会の活動の一部をPRさせて頂きたいと思っております。「船橋からJリーグの審判を！」を目標にし、では何から出来るかを考えた時に、まずは小中学生年代に、「ルールを理解し、よりサッカーを楽しんでもらおう！」となり毎年3月、U-15を100人集めて4級審判新規取得講習会を開催しようと動いています。取得だけに終わらず、その後も学校に向いてルール勉強会や実技指導も行っています。すぐに結果は出ませんが10年15年後を見据えた活動を常にやり続けて行きたいです。どうぞ皆様協力よろしくお願ひ致します。





●○上田 千尋○●

この度サッカー3級審判インストラクターに認定されました上田と申します。

私は大学進学をきっかけに千葉県に参りまして、今年で13年目になります。普段は審判員としての活動が中心ですが、自分の担当試合がない日は皆様が担当されている試合に足を運んで勉強させていただいています。こっそり観戦していることもあるので、見かけた方は声を掛けていただくと嬉しいです！笑

まだまだ未熟ではありますが日々研鑽し、今までご指導いただいて得たものをインストラクターとして還元していきたいと思えます。また、サッカーを支える審判員仲間を増やして、もっと「審判って楽しい！」と思ってもらえるよう努めます。

試合会場でお会いできた際は、どうぞよろしくお願ひいたします。



今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2022年2月23日(水・祝) 2022年千葉県シニア選手権0-40、0-50

～市原スポレクパーク～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は日頃から千葉県の派遣審判員として頑張っている皆さまにインタビューをしました。

- | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ | |

- ①：石橋 歩(いしばし あゆみ)
- ②：6年目です。
- ③：審判に興味を持ったのは小学生の時でした。チームのコーチに3級の方がいて、手ほどきを受けた事で審判に興味を持ちました。4級資格を取得したのは中学2年の終わりでした。顧問の先生に勧められた事で審判活動を初めました。
- ④：上級審判員の方とご一緒させて頂いた試合の多くが印象に残っています。中でも1級の方のレフェリングは印象強く残っています。私もあんな風に試合をコントロールできるようになりたいと強く思った事を覚えています。また、1度フクダ電子アリーナのピッチに立たせて頂いたことも印象強く残っています。
- ⑤：やはり1番は選手やチームスタッフの方から「ナイスジャッジでした」と言って頂いた時の達成感です。大好きなサッカーに審判という形で携わり、試合を盛り上げる事ができていれば良いなと思っています。

また、私のような若手は現場に出れば殆どの方が歳上です。普通の大学生であれば関わる事のないような幅広い世代の先輩方と審判に関する事もそれ以外の事も意見交換をする事ができます。そんなコミュニティを沢山の方と築けた事が私にとってかけがえのない財産ですし、素晴らしい社会経験になっていると思えます。





- ① : 勝木 哲浩(かつき てつひろ)
- ② : 9年になります。
- ③ : 子供が小学校の部活でサッカー部に入った際に「チーム帯同の審判が足りない」ため審判の資格を取って欲しいと言われ、お父さん審判で始めたのがきっかけです。
- ④ : 試合中に主審が怪我をしたため、試合途中から主審を務めたことです。
- ⑤ : 失敗続きで落ち込むことも多々ありますが、試合後に選手から「ナイスジャッジ!」と声をかけてもらえると、審判は辞められないと思います。



- ① : 足利 浩一(あしかが こういち)

- ② : 13年。
- ③ : 長男と次男が小学校のサッカー部に入部し、子供達のため、そしてサッカー部のためにと考えて、競技経験は全く無いのですが審判資格を取得しました。
- ④ : 印象に残っていることは失敗やミスした事ばかりですが、こんな下手な審判でも、労いの言葉をかけてくださったり、審判をすること自体にとっても感謝してくださる方もいるので、同じ失敗はしないよう日々しっかりと準備に努めたいと思います。
- ⑤ : 子供が始める前は、サッカーは好きなスポーツではありましたが見るだけのものであり、自分が審判をすることなど全く想像もしていなかったもので、選手達と同じピッチに立って試合ができることをとても幸せに思います。

サッカーを通して、自分や子供達が多くの方々に出会うことができたことは、自分の人生の大きな財産です。お世話になったみなさまに心から感謝申し上げます。



- ① : 中西 克行(なかにし かつゆき)
- ② : 約10年です。
- ③ : 少年チームの指導者をしており、ある大会で審判の判定で勝敗がきまり(後で審判の判定を確認をしたところ間違っていた)、ルールをきちんと理解し、適用することが大切と感じたため、ルールブックを読むきっかけとして審判をはじめました。
- ④ : 初めて割当を頂いた試合です。主審を任せられたのですが、開始直後にキーパーが接触して、競技者が骨折したことです。開始直後は危険です。
- ⑤ : 正直、毎試合が反省で辛いです(笑)。それでも続けられているのは、少しずつですが成長していると感じた時があるからでしょうか。あとは、審判活動を通じて、いろいろな方と知り合えることですね。

- ① : 深山 瑛久(ふかやま てるひさ)と申します。
- ② : 高校2年生の時に審判資格を取得してから20年になります。
- ③ : 父が東京都の2級審判員で、小学生の時に良く父の試合を見に行っていたことと、自分も競技者をしていたのですが、選手時代は上手では無かったので何か違う事でサッカーに関わる事が出来ないかと思い、高校生の時に審判資格を取得して審判活動を始めました。
審判活動と船橋市で少年団の指導者もやりながら活動していましたが、指導が落ち着いたタイミングで本格的に審判活動をはじめました。
- ④ : U-15高円宮杯千葉県予選の決勝戦で副審を担当していたのですが、主審の方が前半で怪我をしてしまって後半から主審を勤めた事です。
- ⑤ : アドバンテージを採用してそこから得点が生まれる時と、試合終了後に選手やチームの監督さんコーチの皆様から「ナイスジャッジでしたよ!」と言われた時です!



第27回千葉県サッカー選手権大会 (JFA第102回全日本サッカー選手権大会千葉県予選) 決勝戦

2022年5月7日(日)13:00キックオフ 第一カッターフィールド

プリオベッカ浦安 2(1-0, 1-0)0順天堂大学蹴球部

R:原田 雅士氏, AR1:永島 淳平氏, AR2:平野 裕大氏, 4th:中島 智広氏(文中敬称略)

千葉県のサッカーチームナンバーワンを決める試合を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 永島さん、原田さん、中島さん、平野さん)

Q : 本日は天候不順の中大変お疲れ様でした。まずは、決勝を終えた感想をお願いします。

原田 : 決勝戦の割当を頂くことができ感謝しています。審判団で協力して無事に試合を終えることができて良かったです。

永島 : 両チームにとって大切なゲームでしたが、フェアな試合だったかと思います。私たちへの明らかなチャレンジもなかったですし、私たちは私たちが、役割を全うしたのではないかなと思います。

平野 : この試合に限った事ではないですが、まずは主審の原田さんを中心に、審判団として無事に試合を終える事ができて良かったです。

中島 : 強い雨が試合前に降るコンディションでしたが、無事に終わって良かったです。



Q : まだまだ続く新型コロナウイルスの影響で制限も多い運営でしたが、これまでコロナの影響で一番つらかった事、もしくは印象深い事は？

原田 : つらかったことは対面での研修会やトレーニング会などがなくなり、レフェリーの先輩や仲間との活動が制限されたことです。

永島 : サッカーの話ではないですけど、保健所での仕事ですね。第3波、第5波、今回の第6波と事務方の最前線にいました。消耗する現場で、厳しさとか、ひっ迫の程度なんかを言葉にするのはなかなか難しいですけど、コロナ禍が終わってくれたら、少しは自分の働きを誇りに思えるかなって今は思っています。

サッカーの話だと、選手交代のルールが担当する試合ごとに変わって、試合前に確認していても、試合中にふと焦ることがあったりして、また飲水タイムが設けられる試合が増えたと思います。急に6月の下旬とかの試合で、飲水タイムがなかった時はしんどかったです。

平野 : 挙げればきりがありませんが、今回はサッカーの話なので、その点で言うと、アポイントが予定されていた前日に試合がキャンセルとなり、予定していた計画を大きく狂わされる機会が多々あった事ですね。

中島 : 数か月間全くゲームがない期間を経て、改めて試合やリーグが再開された際には、試合があることの有難さ、楽しさを感じました。

Q : 原田さん、中島さんは結婚されていますが、家庭と審判活動の両立で工夫している点は？

原田 : 妻とよく話して仲良くすることです。普段から応援してもらえるように協力できることはしています。

中島 : 試合後は寄り道をしないで家の買い物をして帰る事です(笑)。それから、月に1回は試合会場以外にどこかに出かけるよう心がけています。



Q : 永島さんは今回初めての決勝審判でしたが、普段の割り当てと違った事はありましたか？

永島 : 両チームとも今季すでにそれぞれのリーグで笛を吹いていて、どんなチームか知っていましたし、私たちフェリーチームもよく知ったお兄様方でしたので、特に変わらず終わったかなといった感じです。普段通り入れました。

Q : 平野さんは2015年に第4の審判員としてこの決勝戦を担当していますが、その時と気持ち的に違いはありますか？

平野 : 第4の審判員と副審2とで、気持ち的な違いは特にありませんでした。ただ、年齢的な観点で考えると、当時は4人の審判団の中で自分が最年少でしたが、今回は最年長だったので何とも言えない感覚でした。

Q : これまで審判をしてきて、嬉しかった事、楽しかった事は？

原田 : 審判を始めたことでたくさんのレフェリー仲間やサッカー仲間と出会い、たくさんの繋がりを持つことができたことです。

永島 : 何が楽しいのですかね(笑)。けど、選手だけやっていたら立てなかったピッチとか、出ることのなかった大会、試合とかそういう場に関われたというのは楽しさとか、嬉しさの1つかもしれないですね。サポーターだったら、見られないサッカーの裏側の世界も感じ取れますし。サッカーの世界をより深く味わっている実感があります。私の職場はあるJクラブを熱烈に応援する方々がたくさんいるのですが、その方たちもすごく審判の世界に興味を持っているのですよ。判定がどうこうとかだけじゃなくて、普段の過ごし方とか、すごい色々な事に対して。そうしたことから、良いサッカーとの関わり方しているな〜って思います。当然役割の重要さをもう一度認識させられて気も引き締まるのですけど。

平野 : 良い意味でも悪い意味でも、この活動を通じて様々な方に出会える事ですね。これは審判活動に限った話ではありませんが、この活動をしているからこそと言うものがあるので、今も貴重な経験をさせて貰えていると思います。

中島 : 最近は試合に出掛けられる普通の週末が本当に嬉しく感じます。これまで審判活動を行ってきた中では、仕事や学校生活を送っている中では絶対に出会えない愉快的仲間たちと知り合い、プライベートでも遊びに行ったり出来ていることが本当に楽しく、嬉しいことです。

Q : ズバリ！コロナ前のように自由に行動できるようになったら、真っ先にしたい事は？

原田 : 早いもので千葉に移籍して5年目になります。快く自分を受け入れて頂きましたが新型コロナウイルスの影響で千葉の皆様とご一緒させて頂く機会が減ってしまいました。制限がなくなりましたら、対面での研修会やその後の延長戦(飲み会)、忘年会などに参加したいなと思っています。引き続きよろしくお願ひ致します

永島 : 海外旅行！今はどこに行こうか下調べ中です。

平野 : 特にコレというのは無いです。ただ、今は何をしても「コロナ」の三文字が頭にあるせいで、真っ先にその事を考えてしまいポジティブに物事を捉えられない事が多々あります。あえて挙げるなら、そういった事を考えずネガティブな感情にならなくて済むコロナ禍以前の生活を送りたいですね。

中島 : 南の島に1か月くらい行きたいかな…。



みなさま、ありがとうございました。



当日のアセッサー
松崎 康弘氏
(左側)

更新講習会のお知らせ(サッカー)

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

この講習会は、現地に集合して行う対面式の講習会です。詳しくは審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべてKICK OFF(JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

また新型コロナウイルス感染症対策によって、講習会の定員を減らしたり、中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

募集定員はコロナ対策を考慮しています。

4級・3級の方は日本サッカー協会JFAが提供するオンラインサービス・KICKOFFシステムから申し込むJFAラーニングによる更新をお勧めします。

4級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人員	駐車場	講習会費
2022年12月18日(日)	9:30~10:00	10:00~13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	100人	有り	一般¥6,100 ユース¥1,550
2023年2月12日(日)	9:30~10:00	10:00~13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	100人	有り	一般¥6,100 ユース¥1,550
2023年2月26日(日)	9:30~10:00	10:00~13:00	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	100人	有り	一般¥6,100 ユース¥1,550

3級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人員	駐車場	講習会費
2022年12月18日(日)	13:00~13:30	13:30~16:30	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	100人	有り	一般¥6,900 ユース¥2,050
2023年1月15日(日)	13:00~13:30	13:30~16:30	講義	スポーツ科学センター 第1研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	100人	有り	一般¥6,900 ユース¥2,050

2級審判員

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人員	駐車場	講習会費
2023年1月15日(日)	17:00~17:30	17:30~20:30	講義	スポーツ科学センター 第2, 3研修室	千葉都市モノレール(2号線) スポーツセンター駅	50人	有り	一般¥14,600

2022年度 第2回

サッカー2級審判員昇級認定審査のお知らせ

時期:10月予定

会場:検討中

現在審査方法等については、会場及び内容について検討中です。

※詳細が決まり次第Webの方に詳細をアップいたします。



2022年度 第2回

サッカー3級審判員昇級認定審査のお知らせ

1 受験資格

(1)2022年度の(公社)千葉県サッカー協会(以下「千葉県協会」)4級審判員として登録していること。

※申込み時に15歳以下の者が審査に参加する場合は、親権者の同意が必要。

(2)3級審判員に昇級後は、千葉県協会の審判派遣に積極的に従事する意思があること。

※上記の意思が確認できない場合、2次審査の参加を認めない。

(3)次の審判実績のいずれかがあること。

ア サッカー4級審判員として10試合以上の実績があること。

(ア)10試合以上の実績のうち、主審が8試合以上であること。

(イ)4種の試合(8人制含む)は、1日2試合までを限度に審判実績として計上できる。

※例として、同じ日に4試合主審を担当しても、審判実績は2試合分だけしか認めない。

(ウ)フットサルおよびビーチサッカーの審判実績は計上できない。

イ 顕著なサッカー歴を有している者。

※本項目については、千葉県協会が判断する。

(4)その他

ア この審査を受験する1年以内に健康診断を受け、審判活動に支障がないこと。

※職場、学校等の健康診断を含む。健康診断を受けていない場合、2次審査の参加を認めない。

イ 受験者は、審査参加にあたって、不慮の事故や疾患に関する一切の責任を自己で負う。

ウ 3級審判員に昇級後の審判活動に従事中の事故については、千葉県協会が加入する審判障害保険の範囲内で補償されるが、各自でスポーツ障害保険等の保険に加入していることが望ましい。

2 審査基準

(1)千葉県協会が主催する試合の主審を務める技能を有するかを審査する。

(2)1次審査(書類審査)

次に掲げる書類を提出すること。

ア 参加申込書(1次審査書類)に必要事項を記載。

※審判委員会ホームページの様式集(昇級審査の申込用紙)から「サッカー3級」の申込書を選び使用すること。また、記入例を必ず読むこと。

イ 審判実績確認:レフェリーズダイアリーまたはレフェリーノートの審判記録のコピー提出による。

(3)2次審査(筆記試験および体力試験)

1次審査合格者に対して、次の審査を実施する。

- ア 開催期日 2022年10月2日(日) 野田市総合公園(陸上競技場)
イ 筆記試験 競技規則に関するもの。合格基準80点以上。
ウ 体力試験 75m走(25秒)-50m歩(30秒)×24本
エ 講義 合格者に3級審判員として必要な講義を実施する。

※詳細が決定し次第、KICKOFFに掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策によって、この審査会は申込定員を大幅に減らす場合や、延期または中止となる場合があります。

研修会及び昇級試験のお知らせ (フットサル)

帯同審判員対象フォローアップ研修会

コロナの為 Web開催を決まり次第、担当審判員に連絡いたします。

カテゴリー審判員対象研修会

コロナの為、Web開催を決まり次第、担当審判員に連絡いたします

2022年度第2回フットサル3級審判昇級試験及びフットサル2級予備試験

時期:10月予定

会場:未定

※詳細は決まり次第Webの方に詳細をアップいたします。



日本サッカー協会(JFA)コラムのご紹介

審判員を務めることで得られる視野の広がり

～サッカーの活動における暴力根絶に向けてVol.108

山岸佐知子JFA審判委員会副委員長、リスペクト・フェアプレー委員長(元千葉県サッカー協会審判委員長)のコラムがJFA公式サイトに掲載されております。皆さんの周辺にもいらっしゃるユース審判員にも、リスペクトを。記事は以下リンクをクリック。

<https://www.jfa.jp/news/00029826/>



広告主さま募集しています

- ・千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
 - ・募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
 - ・この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局
(TEL [043-310-4888](tel:043-310-4888))にご連絡をお願いいたします。



編集後記

暑いです。。。梅雨があつという間に終わってしまいました。梅雨なんてなかったんじゃないかというくらいに酷暑が続いています。節電も叫ばれますが、身の危険を感じる程の暑さなので、節電はほどほどに、健康第一で過ごしましょう。(Fucchie)

レフェリーニュース編集員

高野 祐介
淵上 祥太
金子 秀之
染田 洋
長谷川 鉄哉

E-mail: cfarc.somu@gmail.com



公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会 <http://cfa-referee.lolipop.jp/>